

# News Letter



■2016年8月4日発行 ■編集・発行／三重大学地域人材教育開発機構(旧高等教育創造開発センター)



## 全学FD等開催報告

「ディープ・アクティブラーニングの理論と方法」3/24  
「授業デザインとアクティブラーニング」6/1 ほか

### ② ディープ・アクティブラーニングの理論と方法 (2015年度全学FD)

3/24(木)、環境・情報科学館3階PBL演習室において、全学FD「ディープ・アクティブラーニングの理論と方法—Teaching から Learning へのパラダイムシフト—」を開催しました。当日は約80名の参加があり、満席となりました。

はじめに、高等教育創造開発センター (HEDC) の杉崎鉦司副センター長から開会挨拶が行われ、松下佳代教授 (京都大学高等教育研究開発推進センター) が「ディープ・アクティブラーニングの理論と方法」についてご講演されました。松下先生は、アクティブラーニングだけではクオリティーラーニングが十分に語れないため、学習内容や質の「深さ」を求めるディープラーニングこそ肝要と話され、ディープ・アクティブラーニングの方法とデザインのポイントについて説明なさいました。

続いて、荻田修一教授 (HEDC教育開発部門長) が本学におけるアクティブラーニング調査の結果報告をされ、5学部の先生方がそれぞれの学部やご自身のアクティブラーニングの実践を発表されました。これらの本学の取組みに対し、松下先生からは「三重大学はPBLを中心としたアクティブラーニングのモデル校に是非なってください」と激励していただきました。

最後に、山本俊彦理事 (HEDCセンター長) が、本学がより組織的に、各教員が実践されているアクティブラーニングの更なる交流を目指した、アクティブラーニング元年宣言をされ、大変盛況のうちに閉会しました。



会場の様子



講師の松下佳代先生 (京都大学高等教育研究開発推進センター)

### ② 授業デザインとアクティブラーニング (2016年度全学FD)

6/1 (水)、環境・情報科学館3階PBL演習室において、全学FD (主に新任教員向け) 「授業デザインとアクティブラーニング」を開催しました。

HEDCの山本裕子講師の担当で、1部では「大学の授業とは何か?」「シラバスとは何か?」を考え、授業の目的と到達目標の書き方を確認した上で、アクティブラーニング (AL) が大学教育において必要となってきた背景や定義、及び授業をALにする考え方を学び、ALの手法のいくつかを実践しました。



講義の様子

2部では、現在、学習科学の分野でディープラーニングの手法の1つとして注目されているジグソー法をグループに分かれて体験的に学びました。

参加者は教員11名で、1・2部ともに参加者の積極的な学びの姿勢のもと、ベテランから若手に本学の基本目標や歴史を伝える輪が広がり、大変有意義なグループワークとプレゼンテーションの場が生まれていました。本学の学生のよりよい学びのために、先生方が一つになって考えて実践していってほしい姿が大変印象的でした。



グループワークの様子

## 医学部FD学習会

### 「アクティブラーニングの理解と実践」

看護学科と医学科の共催でFD学習会が3回に渡り開催され、1・2回目はHEDCの山本裕子講師、3回目は山本講師に加えて荻田修一教授（HEDC教育開発部門長）と森尾吉成准教授（HEDC教育情報システム部門兼任）が講師を務めました。出席者が多く発言も活発で、大変盛況な会となりました。

1. アクティブラーニングとは何か：  
TeachingからLearningへ（5/30）
2. アクティブラーニングの手法①：今話題のジグソーって？（6/13）
3. アクティブラーニングの手法②：大人数クラスでもできるアクティブラーニング  
（Moodleの活用実践の紹介を含む）  
（7/6）



1回目のグループワークの様子

## 【お知らせ】

### ★新機構について

高等教育創造開発センター（HEDC）は、7/21付で、地域創発センター、及び国際交流センターと附属図書館の教育機能の一部と発展的に統合され、「三重大学地域人材教育開発機構」として、新たに生まれ変わりました。

地域人材教育開発機構は、本学の教育目標の達成に向け、大学教育の創造・開発を推進し、国際社会に通用する人材の教育、及び地方創生に資する地域人材育成のための学位プログラムと学修成果の質保証に向けた全学的な取組を企画・推進する組織です。

次号より、本ニューズレターはデザインを一新し、本学の世界と地域への教育と研究による貢献に向けた新たな挑戦と取組を、リフレッシュしてお届けして参ります。

### ★論文誌について

#### 三重大学高等教育研究 第23号執筆原稿募集のお知らせ

（旧 大学教育研究：三重大学授業研究交流誌）

「三重大学地域人材教育開発機構」の発足に伴い、1993年より出版されてきました『大学教育研究—三重大学授業研究交流誌—』が新たに『三重大学高等教育研究』として、生まれ変わることとなりました。

本誌は創刊以来の大学教育における教育方法・教育内容に関する原著論文及び教育実践記録などの資料論文の発表という目的を継承し、さらに大学教育を基点とした社会貢献、地方創生、大学発ベンチャーなどの教育研究のイノベーションなど、多様な高等教育に関する教育実践論文を広く学内外に向けて募集するものです。

上記趣旨にご賛同いただける方は、下記要領にて原稿をご準備いただき、奮ってご投稿ください。また、ご興味をお持ちの関係各位にご紹介いただければ幸いです。

・応募締切：2016/10/20

・原稿締切：2016/11/20

・執筆要綱：詳細は高等教育創造開発センターHP（地域人材教育開発機構HPは現在作成中のため）にてご確認ください。

<http://www.hedc.mie-u.ac.jp>